

「大スギの下のデン」の舞台となる森林について

おはなしの舞台は、照葉樹林です。国内では、沖縄県から東北地方南部に分布し、シイ属、アカガシ亜属、タブノキ属、ツバキ属などの種で構成されています。

ヤマタニシ

ヤマタニシの背中
の殻は右側に立体的に渦を巻いています。なので、左から見ると渦は見られず、くぼみがあるだけです。

今回の絵本では、ヤマタニシの渦がきれいに見えるように、左から右に絵が進んでいくよう、左開き（左綴じ）の絵本にしました。

【ヤマタニシの見分け方】

- ①蓋（ふた）がある
 - ②入り口が円い
- ※立体的な渦はカタツムリの種類にもあるそうです。



「西宮市貝類館」提供

このおはなしは、神社裏の照葉樹林（鎮守の森）を舞台に設定し、登場する動植物を描いて頂いています。神戸市内では、西区太山寺の原生林は兵庫県の天然記念物に指定されています。



KOBELCO森の童話大賞HPの「おはなしを書く前に」で、森についての詳しい情報を発信しています。ぜひご覧ください。
HP www.kobelco-mori-ohanashi.jp



絵本活用のヒント

第6回小学生の部金賞受賞作品

「大スギの下のデン」



KOBELCO 森の童話大賞について

森はたくさんのいきものの命を育み、空気をきれいにし、水をたくわえ、私たちの暮らしに安全と豊かな恵みを与えてくれます。でも、一度森が元気を失ってしまうと、元通りにするには長い年月と、大変な努力が必要になります。

このような「森」を理解し、大切に作る心を、次の世代を担う子どもたちに育んでもらうため、神戸製鋼グループは「森」をテーマにしたおはなしを募集し、絵本を作っています。

この絵本を読んで、一人でも多くの子どもたちが、森をはじめとする自然について考え、かけがえのないものであると気づき、そして、いつか、森を、自然を、元気することを何か一つでも実行していただければと思っています。

「大スギの下のデン」の世界

ヤマガラ

全長13～15cm。
小笠原諸島以外のほぼ全国に分布。



アオキ

2～3mの常緑低木。
東北地方南部、関東以西～沖縄までの森林に自生。
3～5月に紫色の花をつけ、果実は秋ごろから赤く熟し、11月～翌5月頃まで残っている。



ヤブコウジ

10～30cmの常緑多年草。
7～8月に白色または薄いピンク色の花が咲き、10～11月頃に実が赤色に熟す。



ジャノヒゲ (左:実/右:花)

10cm程の常緑多年草。
7～8月頃に淡紫色の小さな花をつけ、秋から冬にかけて青紫色の丸い実が出来る。



シュンラン

土壤中に根を広げる、
地生ランの代表。
(⇔着生ラン)
3～4月に花が咲く。

